

中秋偶成其一 横山峯雲

藍天明浄素秋通、

碧緑松蹊林樾風。

黄葉随風江面上、

紅墻邀客樂融融。

中秋偶成 《ちゆうしゆうぐうせい》其 《そ

の 一 《いち》 横山峯雲 《よこやまほうう

ん》

藍天 《らんでん》 明浄 《めいじよう》にし

て素秋 《そしゆう》通 《つう》じ、

碧緑 《へきりよく》 松蹊 《しようけい》

林樾 《りんえつ》の風 《かぜ》。

黄葉 《こうよう》風 《かぜ》に随 《したが》

いて江面 《こうめん》の上 《うえ》、

紅墻 《こうしょう》客 《かく》を邀 《む

か》え樂 《たの》しみ融融 《ゆうゆう》たり

。

（題意）

仲秋にたまたま詩を作る其の一

（詩意）

青空が広がり、淨いことこの上なく、ついに  
秋の季節がやってきて、  
深緑の松の小道には林を抜ける風が吹いてい  
る。  
黄色い葉は風に舞い散って、川面に漂い、  
紅くなつた垣根の我が野亭に、客を迎えて樂  
しくゆったりしている。

（注釈）

・ 中秋偶成 .. 仲秋にたまたま詩を作る。

・ 藍天 .. 青空。

・ 明淨 .. 汚れなく淨いこと。

・ 素秋通 .. 秋の季節がやってきた。秋になつ  
た。

・ 碧緑 .. 深いみどり色。

・ 松蹊 .. 松の小道。



中秋偶成其二 横山峯雲

山近江静秋彩多、

天長地久欲平和。

斜陽暁月三千界、

万物千姿為小渦。

中秋偶成 《ちゆうしゆうぐうせい》其 《そ

の二 《に》 横山峯雲 《よこやまほううん》

山 《やま》近 《ちか》く江 《こう》静 《し

ず》かにして秋彩 《しゆうさい》多 《お

お》く、

天 《てん》長 《なが》く地 《ち》久 《ひさ》

しく平和 《へいわ》を欲 《ほつ》す。

斜陽 《しゃよう》 暁月 《ぎようげつ》 三

千界 《さんぜんかい》、

万物 《ばんぶつ》千姿 《せんし》小渦 《しよ

うか》と為 《な》す。

（題意）

仲秋にたまたま詩を作る其の二

（詩意）

秋になり山が近くに見え、川も静かな流れで紅葉など色彩が豊かだ、

天長地久 ≪てんちようちきゆう≫を願って、さらに平和を望む。

落ちる夕日や明け方に残る月、自然は広い三千世界で、

この世の全ての物、多くの異なる姿形などはただの小さな渦のようなものだ。

（注釈）

・ 中秋偶成… 仲秋にたまたま詩を作る。

・ 山近… 山が近い。

・ 江静… 川が静かである。

・ 秋彩多… 秋の色彩が多い。

・ 天長地久… 天地が永久にかわらないように物事がいつまでもつづくこと。（老子）



マジックもタネを知ったら、面白くありませんから。漢詩の場合、漢字の平仄、韻字の制限、隣合わせの行の平仄の配列など、様々な規則で成り立っています。漢詩は古代語なので、日本人が万葉集や源氏物語、平家物語を読むようなもので、現代の中国人も学校で習って、ようやく理解出来るのです。さらに、困ったことに現代中国で使っている漢字は簡体字と繁体字なので、古代中国語の漢字や日本の漢字と同じとは限りません。平仄は古代の人の中国語の漢字の発音でありますので、おそらくは、古代中国の詩人たちは読んで発音をして楽しんだのだと思います。残念ながら、ら、峯雲は中国語の発音が出来ませんので、楽しみ方が半減しているのかも知れません。次回をお楽しみに。

